

大和川上流部大規模氾濫に関する減災対策協議会

H30.3.26

～『迅速、的確かつ主体的な避難』と『確実な水防対応』ができる地域社会を目指して～

第4回協議会を開催しました。

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所
奈良県 県土マネジメント部 河川課

第4回『大和川上流部大規模氾濫に関する減災対策協議会』が開催されました。昨年8月の第3回協議会から、新たに対象河川を奈良県が管理する区間まで拡大し、24市町村が本協議会に参画しています。

今回の協議会では、県管理区間においても、各構成員がそれぞれ又は連携して取り組む事項をとりまとめた内容の説明とこれに伴う取り組み方針の改定について審議を行い、構成員から承認頂きました。また、国管理区間における各機関の取組状況の報告などフォローアップを行いました。

今後は、『迅速、的確かつ主体的な避難』と『確実な水防対応』ができる地域社会を目指し、河川管理者である大和川河川事務所と奈良県、奈良地方气象台並びに大和川上流域の全ての市町村が連携して取り組んでいきます。

概要

■日時：平成30年3月26日(月)10:00～11:00

■会場：リベール王寺 東館5階 リベールホール
(王寺町地域交流センター)

■取組方針の改訂

- 県管理区間における取組方針の内容について説明し、今後5カ年間で取り組む事項取組方針の改訂案を、構成員から承認されました。

■国管理区間における平成29年度実施内容の報告

- 平成29年度の取組みとして、要配慮者利用施設の避難計画の促進および避難訓練の促進支援、同報系防災行政無線等の整備、水防訓練、水害教育、メッシュ情報の充実・利用活用、重要水防箇所合同巡視などの活動結果を報告しました。

■出席者の様子



■協議会の構成メンバー

市町村(順不同)	気象庁、河川管理者	
奈良市長	斑鳩町長	気象庁大阪管区
大和高田市市長	安堵町長	奈良地方气象台長
大和郡山市市長	川西町長	国土交通省 近畿地方整備局
天理市長	三宅町長	大和川河川事務所長
橿原市長	田原本町長	奈良県
桜井市長	高取町長	県土マネジメント部長
御所市長	明日香村長	奈良土木事務所長
生駒市長	上牧町長	郡山土木事務所長
香芝市長	王寺町長	中和土木事務所長
葛城市市長	広陵町長	高田土木事務所長
平群町長	河合町長	吉野土木事務所長
三郷町長	大淀町長	

■構成員の方の主な発言

- 県と市町村間のホットラインを整備するにあたっては、伝達内容は近隣の洪水被害の情報など、有用な情報となるよう整理してほしいとの意見がありました。
- 危機管理型水位計の設置にあたっては、市町村の実情や運用を熟知している各担当者とは相談してほしいとの意見がありました。
- 気象庁の浸水害等の危険度分布を活用すれば中小河川や水位計のない河川においても早期の避難等に有用であるとの報告がありました。



【問い合わせ先】 奈良県 県土マネジメント部 河川課

〒630-8501 奈良市登大路町30

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33 TEL 072-971-1381

TEL 0742-27-7504(河川課直通)

